

令和2年度

事業計画書

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

公益財団法人 多田清文化教育記念財団

令和2年度事業計画書

1. 令和2年度事業の実施方針

いよいよ東京オリンピックの開催も迫り、日本にとって記念すべき一年が始まりました。

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」で起きたコロナウイルスによる肺炎の集団感染は、留まる事無く国内外に広がり、観光・経済に陰りをみせはじめて参りました。

そんな中ではございますが、今年もあらゆる層の方々のニーズに対応するよう事業プログラムを考慮し構成をいたしました。

地域づくりの一環として始めた清明茶会も今回で14回と回を重ねてまいりました。濃茶席・薄茶席に続く野点席は、今回初めて青年部の方々によるお席となります。伝統芸能のお茶を次代に引き継ぐために、若い方々の演出による舞台をご用意し、こんなにも斬新なお茶の世界もありか、という事を勝山城博物館から発信し、茶道文化の魅力や価値をより多くの方々に認識していただければと思います。

勝山市との連携事業、第7回特別展覧会は「江戸時代 町年寄の職務～勝山三町の繁栄～（仮称）」とし、会期は令和2年7月18日（土）～9月30日（水）の75日間とし、近世から近代までの古文書「町年寄り日記」等 城下町を軸とした町政に関わるものなどを中心とした展示となります。今回は本町の松屋醤油店の江戸初期からの秘宝が数多くお披露目されます。

クローバーグループ連携事業「俳句」・・・ちやまを詠む・・・
ゆめおーれ・越前大仏・まほろば・勝山城博物館の4館の共同事業で各施設に投句箱を設置し、春夏と秋冬の2回投句箱を開け、それぞれ入賞者を選者に選考していただき賞状と賞金を式典の中で授与します。今回より教育委員長賞を設けると共に、特選と入賞者の方々に式典会場で賞状と賞金を授与させていただきます。

入賞者の詩句は平常どうり四館に1ヶ月ずつ展示します。ゆめおーれの月刊行事案内チラシにも入賞者の詩句が掲載されます。

「M i n a k o I i d a お城で歌う」 ソプラノ歌手飯田美奈子さんは、勝山城で以前3回ほどオペラコンサートを開催、好評をいただいております。武庫川女子大学音楽学部声楽科卒業・研究生として2年在籍、

ドイツ・イタリア・イギリスなど海外での招待コンサートでも活躍、今回はピアノ奏者とお二人で皆さんがなれ親しんでいるオリジナルの曲を中心に、飯田さんの巧みなトークと共にお楽しみいただきます。

恒例となっております秋の「お城でゴスペルⅧ」は、今回で8回目の公演となります。軽快な音楽とステージパフォーマンスで観客を引き込み、軽快なメロディーで魅了させてくれます。年々観客の皆さんの幅の広がりに加え、昨年より金沢を拠点に活躍している ソロシンガー中田理恵子さんの出演も加わり、よりコンサートを盛り上げております。

15回目の開催となります絵画作品展「勝山とお城を描こう」は、勝山市との連携事業で今回も情報を広く社会に向けて発信し作品を募集します。特に前回から勝山市長賞を設けさせていただき、出品のモチベーションを高めました。毎回応募いただく枚数が7～800あり、式典の日は、孫や子どもの入賞作品を見るため家族総出で出席する方々が多く、会場は人の山でごった返しております。特に式典後の櫻町晴美審査委員長様による「絵の評価」を聞く事を、親子共々心待ちしているようです。期間終了後は、ショッピングセンター・サンプラザの2階展示場に会場を移し、老若男女、子どもから大人まで、幅ひろく絵画のロマンをお楽しみいただいております。

明けて令和3年の新春特別陳列・新収品展は、例年どうり当館の収蔵品の展示を致します。特にめあたらしいものはございませんが、貴重な品々を是非ご覧戴きたいと思っております。

その他、主な文化・貸館事業、勝山城友の会事業活動が今年の主な事業となっております。

勝山城博物館と勝山市との連携で博物館だけの閉じた世界ではなく、地域の方々との繋がりも大きく開け、友の会活動もより活発に行われております。博物館の意義を十分に踏まえながら厳しい運営環境の中ではございますが、今後も活動を積極的に行ってまいります。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①クローバーチケット連携「俳句」ちやまを詠む

応募期間（春夏期） 令和2年3月1日（日）～8月31日（月）

（秋冬期） 令和2年9月1日（火）～令和3年1月31日（日）

入賞者発表（春夏期） 令和2年9月中旬

（秋冬期） 令和3年3月初旬

クローバーチケットで連携を結んでいる、ゆめおーれ勝山・越前大仏・平泉寺まほろば・勝山城博物館の4館に俳句の投句箱を設置します。古くから俳句が盛んであった勝山にふさわしいイベントとして、各施設の来館者に自由に俳句を詠んでいただき、勝山の文物や自然をより楽しんでいただけるよう企画しています。

②平成お天守塾 第14回「勝山城清明茶会」

日程 令和2年4月19日（日）

毎年恒例となりました、北陸最大規模のお茶会である「清明茶会」を開催いたします。各流派をお招きし、濃茶席・薄茶席・野点席・点心席を設けます。今回も勝山市から人と資金の面で応援をいただき、勝山おやきまつりを始めテント市を開催する見込みとなっております。広報にも力を入れることで、より広い客層へ当館自体をアピールできる絶好の機会として位置付けています。

③勝山市・勝山城博物館連携第7回共催展

「江戸時代 町年寄の職務～勝山三町の繁栄～（仮称）」

日程 令和2年7月18日（土）～9月30日（水）（仮） 会期中無休

勝山市内で江戸時代から店を構える松屋で、昨年度本格的な調査が行われ、近世から近代を中心に約5,000点の資料が確認されました。その内容は、家系・商売など松屋関係、法令・火消・町役人など藩政・町政関係、製糸・煙草など産業関係、検地帳・地価帳など土地関係のほか、近世の住宅絵図など県内でも貴重な資料が含まれています。昨年度、白山平泉寺と勝山城下町が日本遺産に指定されたこともあり、その構成内容である七里壁下部に住んだ商人たちの世界を紹介し、勝山市のPRにも繋がりたいと考えています。

④平成お天守塾 「Minako Iida お城で歌う」

日程 令和2年9月27日（日）

ソプラノのオペラ歌手としてご活躍されている飯田美奈子氏によるソロコンサートを開催いたします。「魔笛」や「ドン・ジョヴァンニ」など多数のオペラに出演され、その歌と音楽性が高く評価されている飯田氏の歌声を間近で聞いていただける貴重な機会となります。

⑤平成お天守塾 「お城でゴスペルⅧ」

日程 令和2年10月前半の土曜日又は日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、8回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループを中心とした音楽イベントを行うことで、音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知いただける機会となっております。他グループとコラボレーションすることで、注目度の高いコンサートです。

⑥勝山市・勝山城博物館連携 第15回絵画作品展「勝山とお城を描こう（仮）」

日程 絵画作品募集期間 令和2年7月7日（火）～10月4日（日）

表彰式 令和2年11月3日（火・祝） 2階障壁画ホール

展示会 令和2年11月3日（火・祝）～11月23日（月・祝）

「清明茶会」と並び、本イベントも長年の積み重ねが評価されて勝山市との連携開催となっております。県外からの応募もある本企画は、子供から大人まで気軽にご応募でき、展示会には毎回多くの親子連れに足を運んでいただいております。未来の来館者にも繋がるイベントと位置付けています。

⑦新春特別陳列・新収品展

日程 令和3年1月1日（金）～1月31日（日）（水曜通常休館）

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間しか陳列することができません。カビや虫の不安も少なく、かつ客足が落ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の特別陳列を行います。同時に、新たに当館の収蔵品に加えられた貴重な品々も同時に公開いたします。

（2）主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日（計4回を予定）

会場 2階和室「蘭月の間」

協賛 勝山市茶道連合会

当日ご来館いただいたお客様にお声掛けをし、和室にて本格的な薄茶もしくは煎茶を提供いたします（要別料金）。

御茶一服を差し上げ、茶室での体験をしていただき、気軽に茶道に親しむ機会を提供いたします。

この他にも、随時当館の文化・教育事業に相応しいイベントでの利用を働きかけるとともに、貸館の申し込みを受け付けます。今年度もピアノ教室の発表会などでの利用が見込まれます。

（3）学芸活動

① 燻蒸作業は、特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います（費用は館から立て替え、後に市から規定の利用料を加えて全額振り込まれます）。館蔵品もその際同時に燻蒸庫を利用して燻蒸するほか、専用の防虫剤・調湿材の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。

当館の知名度向上に伴い作品寄贈や寄託も増えた一方、収蔵庫や展示室の大規模燻蒸は近年行われていないため、開館30周年を目処に一度燻蒸計画を立てる必要があると考えております。

② 調査研究活動では、引き続き研究会や所属学会への参加を通じて各地の学芸員や研究者との繋がりを確保し、日本博物館協会の全国大会にも参加することで、館としても県内外の機関のネットワークに確実に認知されるよう活動してまいります。どのような博物館であるかを知っていただくことで、作品貸し出しやその使用料収益、ひいては来館者増にもつながるものと考えております。

③ 平常展示では、3階平常展示の定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのままに、装束と刀剣の入替えをメインといたします。銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍の入替えもできるだけ行ってまいります。昨年度は4階中国刺繍展示室のレイアウトを一部変更し、常設の西脇呉石展示コーナーを設けました。県内の書道団体にも当館の展示室をアピールして参ります。

④ 特別展では、主に勝山市教育委員会文化財保護室の職員と連携して展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

（4）勝山城友の会活動

① 総会・講演会の開催 4月23日（木）もしくは24日（金）

【講師】 箏・三絃奏者 後藤礼奈氏

- ② 館外研修旅行 5月13日(水)(京都府京都市)
- ③ 館外研修写真アルバムの編集・発行
- ④ 友の会だより第27号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。勝山市との共催事業については「広報かつやま」への紹介や、チラシの全戸配布などご協力いただく予定です。また、当館ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では新聞折り込みや広告の掲出も検討いたします。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例理事会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回(事業計画・予算、事業報告・決算)